

青豆品種「あやみどり」の栽培特性

福島県農業総合センター 作物園芸部畑作科

1 部門名

普通畑作物—大豆—作型・栽培型

2 担当者

竹内恵、遠藤あかり、安田裕基子

3 要旨

青豆品種「あやみどり」の栽培特性は、以下のとおりである。

- (1) 基肥は、慣行の化成肥料だけでなく、堆肥、有機質100%肥料でも、同等の収量、品質で栽培できる(図1)。
- (2) 播種は中通り平坦地域では5月下旬～6月下旬で可能である。子実重は5月下旬播種に比べ6月下旬播種で劣るが、30kg/a程度の子実重が確保できる。6月下旬播種では、株間20cmでの栽培が可能である(表1)。
- (3) 成熟期以後、収穫時期が遅くなるほど、種皮の緑色が抜け、品質が低下する。品質を保つためには、成熟期に達したら、なるべく早く収穫を行う必要がある(表2)。

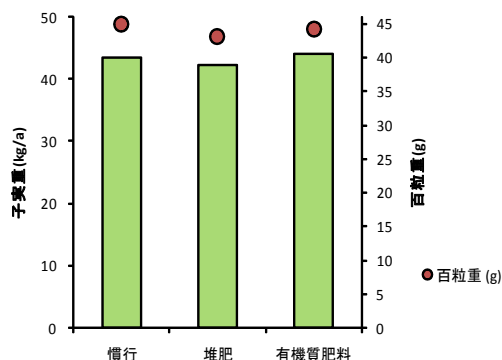


図1 基肥の違いによる子実重、百粒重(2014年)

* 子実重、百粒重は水分を15%に補正してある。
* 慣行、有機質肥料は基肥N0.2kg/a、堆肥は300kg/a (N3.9kg/a)を施用した。また、開花期追肥N0.6kg/aを行った。

表2 収穫期による種皮の色調

年次	区名	種皮の色調			検査等級
		L*	a*	b*	
2011年	成熟期	72.7	-8.9	24.7	1
	10日後	77.2	-6.3	24.0	9
	15日後	79.0	-5.0	24.1	10
	30日後	77.2	-5.2	23.4	10
2012年	成熟期	71.2	-6.1	23.3	6
	7日後	73.7	-5.7	23.1	6
	14日後	74.7	-4.8	23.0	9
	21日後	75.3	-3.0	23.2	9

* 種皮の色調はL*明るさ、a*+赤みー緑み、b*+黄色みー青みを表す。測定は色彩色差計(日本電色工業製SE2000)により、各区5粒の表面2カ所を測定(4反復)。*等級検査はJA郡山市による10段階評価。

表1 播種時期による生育、収量(2011年、2014年)

年次	区名	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	主茎長 (cm)	主茎節数 (節)	子実重 (kg/a)	精子実重 (kg/a)	百粒重 (g)	等級
2011	6.1播種 70×20	7/26	10/25	91	18.3	33.4	26.4	32.6	1
	6.22播種 70×20	8/3	10/28	90	16.8	30.9	23.9	31.9	2
	6.22播種 70×10	8/3	10/31	102	15.4	30.4	25.7	31.6	2
2014	5.26播種 70×20	8/3	10/24	103	20.7	43.4	40.0	44.9	3
	6.26播種 70×20	8/12	10/29	83	15.8	30.4	24.6	38.2	2.3
	6.26播種 70×10	8/12	10/29	94	15.4	33.8	28.0	38.3	2.3

* 子実重、精子実重、百粒重は水分を15%に補正してある。
* 精子実重は2011年は6.7mm以上、2014年は7.9mm以上の重量割合と障害粒の重量割合を子実重にかけたものである。
* 等級はJA郡山市による10段階評価

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成23年度～26年度
- (2) 研究課題名 地域産業6次化推進のための県産農産物の加工技術の開発
(畑作物による加工等支援技術の開発)
- (3) 参考となる成果の区分 (指導参考)

5 主な参考文献・資料